

第 78 回「保健文化賞」受賞者の決定について

第一生命保険株式会社（代表取締役社長：隅野 俊亮、以下「当社」）が主催する第 78 回「保健文化賞」の受賞団体・個人（以下「受賞者」）が別紙のとおり決定いたしました。

当社は創業以来、生命保険事業を通じて社会課題の解決に貢献するとともに、国民の健康、保健衛生の向上に努めてきました。1935 年、当時の国民病であった結核予防に取り組むため、「保生会」を設立しました。以来、保健衛生の向上に継続して取り組んできた中で、戦後間もない 1950 年には、衛生環境の悪化が深刻化する状況を受け、保健衛生の分野において顕著な業績を挙げ、長年にわたり尽力された方々に対し、「感謝」と「敬意」を表するために本賞を創設しました。

創設当時は結核や栄養不足、その後は生活習慣病対策、近年では地域保健・地域医療、高齢者・障がい者福祉、出産・育児支援、国際保健など、その時代におけるさまざまな課題に取り組んでこられた方々を顕彰してきました。

第 78 回となる本年度は、2026 年 2 月 2 日から 4 月 15 日の期間に募集を行い、審査委員による選考のもと、団体 10 件、個人 5 名の受賞者が決定しました。これまでの受賞者総数（今回を含む）は、762 団体、個人 387 名、合わせて 1,149 件にのびります。

受賞者には、厚生労働大臣から表彰状、当社からは感謝状とともに賞金（団体 200 万円、個人 100 万円）、朝日新聞厚生文化事業団・NHK 厚生文化事業団からは記念品が贈られます。

当社は、生命保険業を通じて「安心」と「健康」をお届けすることで、「多様な幸せと希望に満ちた世界」の実現に向けて貢献するとともに、本賞を通じて、今後も保健衛生の向上に寄与してまいります。

以 上

主催 第一生命保険株式会社
後援 厚生労働省
朝日新聞厚生文化事業団
NHK 厚生文化事業団

(別紙)

第 78 回保健文化賞受賞者一覧

(敬称略)

受賞者名(団体・個人)	都道府県 (※)	業績
社会福祉法人 安積愛育園 はじまりの美術館	福島県	「障害者アート」の枠組みにとらわれず、多様な表現活動を通じて障害に対する先入観の払拭と他者理解の機会づくりを行うとともに、「寄り合い」等を通じた孤立の防止及び社会との接点づくりに貢献している。
医療法人愛和会	埼玉県	長年にわたり母子保健に貢献するとともに、周産期医療の専門性を生かした「いのちの授業」を通じて生命教育への取り組みや、乳がん検診等を含む幅広い医療の提供を通じて、安心して出産・育児ができる地域づくりに貢献している。
特定非営利活動法人 アジアの障害者活動を支援する会	東京都	ラオスにおいて障害者の教育・スポーツ・就労支援の推進や政府と連携した制度構築に取り組むなどの活動を通じ、持続可能な社会基盤づくりに寄与し、障害者の社会参加促進と持続可能な社会基盤の構築に貢献している。
特定非営利活動法人 Light Ring.	東京都	若年層の自殺対策が重要な社会課題となる中、13 年にわたり若者同士の支え合い活動を推進し、精神的不調や孤立を抱える若者と「支え手」への継続的な支援を通じて自殺対策及び地域の支援体制の充実に貢献している。
にいがた摂食嚥下障害サポート研究会	新潟県	摂食嚥下障害に関する研究及び診療の豊富な実績を基盤に、産学連携による普及啓発活動等を推進するとともに、介護食品・介護食器具の開発や研究会の運営に取り組んでおり、摂食嚥下に係る分野や介護分野の発展に貢献している。
静岡県立静岡がんセンター 疾病管理センター よろず相談	静岡県	がん相談支援の全国的な制度化に先立ち、「よろず相談」を実施するとともに、相談記録の分析結果を体系化し、全国展開につながるモデルを示すことで、全国のがん相談支援の質向上に貢献している。
認定 NPO 法人 国際ビフレンダーズ 大阪自殺防止センター	大阪府	自殺を考える人への危機介入や遺族への支援、啓発活動に幅広く取り組み、全国から寄せられる多数の相談に対応するとともに、地域の関係機関への専門的助言を通じ、自殺対策及び地域の支援体制の充実に貢献している。
特定非営利活動法人 食べて語ろう会	広島県	家庭環境に恵まれない子どもや生活に困難を抱える高齢者、障害者、外国人に対し、食事支援や自立支援を幅広く実施するとともに、継続的な見守りと支援を通じて、誰もが安心して暮らせる地域づくりに貢献している。
認定 NPO 法人 福岡子どもホスピスプロジェクト	福岡県	重い病気や障害のある子どもとその家族に対し、体験・外出支援や遺族支援などの包括的な支援を行うとともに、小児緩和ケアの普及啓発を継続的に推進することで、子どもと家族の QOL 向上と社会的孤立の防止に貢献している。
特定非営利活動法人 Okinawa Hands-On NPO	沖縄県	学校や自治会等の地域団体と連携し、学習支援や生活支援、食農体験等多世代が参加する活動を展開しており、異世代交流の促進や地域とのつながりの強化を図り、人材育成及び子育て支援の推進に貢献している。

※受賞時点の団体所在地・個人居住地

受賞者名(団体・個人)	都道府県 (※)	業績
加藤 進昌	東京都	発達障害者の社会参加を支援するため、発達障害専門外来、デイケアの開設及び支援体制の整備に取り組むとともに、社会生活技能訓練や就労支援を体系化するなど、発達障害領域の先駆者として貢献している。
板東 あけみ	京都府	35 年以上にわたりベトナムでの障害児支援事業を推進するとともに、「母子手帳」の諸外国への普及や低出生体重児支援の全国展開、母子・障害児支援等を継続的に実践し、母子保健の向上に貢献している。
河野 美代子	広島県	40 年以上にわたり、特別養子縁組のあっせんに尽力するとともに、産婦人科医としての専門性を生かした養親と、子どもを託した実母双方への精神的・身体的ケアを継続し、子どもの命と健やかな成長を支える地域づくりに貢献している。
花田 道子	福岡県	長年にわたり障害児の運動機会確保に継続的に取り組み、アダプテッド・スポーツの推進を通して、障害児の健康維持・健康増進のみならず、障害児の保健に関する教育活動を通じて地域保健文化の向上に貢献している。
大原 万里亜	長崎県	特別支援教育の経験を基盤に、布ナプキンを活用した生理に関する教育を学校や地域で継続的に実践し、女性の健康に関する理解と自己肯定感の向上を図るとともに、命と健康を大切にする地域文化の醸成に貢献している。

※受賞時点の団体所在地・個人居住地